

# 住んでいた町で最後まで共に暮らす～孤立を防ぎ地域を再生するえんがわハウス～ 茨城県常総市

## 旧診療所と母屋を改修した交流の場と、住まいと生活再建の相談窓口を備えた交流拠点整備

- 交流拠点「えんがわハウス」等の整備効果の検証
- 空き家活用による住宅改修システムの実現可能性の検討
- 事業効果の検証、要支援者の仕事・居場所の獲得状況の把握

### 事業概要

代表提案者：ジュントス・常総復興まちづくり株式会社

共同提案者：認定特定非営利活動法人茨城NPOセンター・ commons、一般社団法人グローバルセンター・ commons

総事業費：0.3億円(国費：0.2億円)

補助事業：○住宅 改修

・戸建住宅

○施設 改修

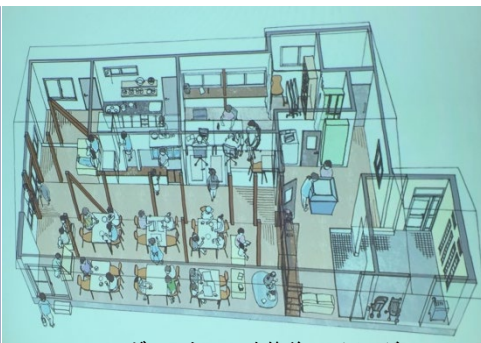
・えんがわハウス、ラーニングセンター

○技術の検証

・交流拠点「えんがわハウス」等の整備効果の検証

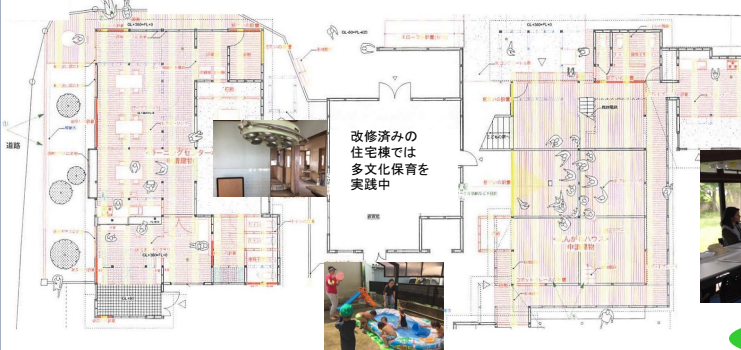
○情報の提供及び普及

・説明会、ワークショップ、HP等による公開及びマニュアル作成



ラーニングセンターの改修後のイメージ

ラーニングセンター



えんがわハウス



改修済みの住宅棟では多文化保育を実践中



皆で汗を流し

2015年の水害で4日間泥水につかった建物はその後、空き家になっていました。学生や企業のボランティアが泥だらけの建物の床や壁を剥がす作業をしたり、障がい者や近所のブラジのお父さんも参加して、徐々に直してきています。



皆で夢を語り

建築を学ぶ学生も参加して建物をどうリノベーションするか検討を重ねています。住民向けワークショップや茶話会を開きながら、皆の希望をふくらませています。



皆でコミュニティを作る

保育でつながった外国籍の家族、就労訓練中の障がいのある仲間、地域の住民が、食を通じて交流したり、共に活動することで、人の絆を深めています。

